

令和 3 年 9 月能代市議会定例会

市 長 説 明 要 旨

令和3年9月能代市議会定例会の開会に当たり、提出議案の説明に先立ち、その後の市政及び諸般の動きなど、その大要を御報告いたします。

初めに、新型コロナウイルス感染症の対応についてであります。全国的に感染者が急増し、9月7日現在で21都道府県を対象地域とする緊急事態宣言が発出されており、県内でもクラスターの発生や変異株の影響等により感染が継続的に確認されております。能代保健所管内においても、8月中旬以降、若い世代を中心に感染者が増加していることから、8月20日に新型コロナウイルス感染症に関する能代市対策本部会議を開催し、市民の皆様へ日常生活における感染防止対策を再徹底することや県外との往来を避けていただくこと等、やむを得ず来県等される方には事前のPCR検査や来県後の健康観察等の感染防止策をお願いする市長メッセージを発表しております。また、市主催のイベント等については、感染拡大防止の観点から開催の必要性を改めて確認し、中止や延期、オンラインによる開催、規模縮小等を検討することとしました。その他のイベント等も、同様の検討をしていただくようお願いしており、のしろ産業フェア2021については中止が決定されております。さらに、市職員については、基本的な感染対策や健康観察等、従来からの対応を再徹底するとともに、当面は県外や県内の他地域への出張は原則として行わないこと、会食は控えること等、感染状況を踏まえ、より慎重な行動をとるよう通知しました。このほか、医療体制の確保状況について情報収集するとともに、能代市山本郡医師会と連携しながら、必要に応じて県に対し申入れ等を行っていくこととしております。

新型コロナワクチン接種については、5月8日から開始した高齢者の集団接種では、7月末までに希望する方の接種を終えることができたほか、国のワクチン供給状況を見極めながら、12歳以上64歳以下の方の接種を、7月11日から順次進めてきております。9月5日現在、高齢者では、19,500人が1回目の接種を、19,262人が2回目の接種を終え、高齢者の9割を超える方が1回目の接種を終えております。また、全体では、35,291人が1回目の接種を、29,351人が2回目の接種を終え、対象者の7割を超える方が1回目の接種を終えております。これまでの予約状況及び今後の国からのワクチン供給量を踏まえ、集団接種の1回目を9月26日に、2回目を10月17日に終了する予定としております。能代市山本郡医師会をはじめ、御協力いただいた医師、薬剤師、看護師等の皆様には、心から深く感謝を申し上げます。なお、令和4年2月までは新たに対象となる方や接種を希望する方への対応が必要となることから、医療機関での個別接種を継続していくことを同医師会と確認しており、詳細が決まり次第、周知してまいります。

能代市仮設診療所については、令和2年8月31日の設置後、かかりつけ医等から予約があった場合に開設しており、2年度は、8日間で13人の検体採取を行っておりますが、県指定の診療・検査医療機関で検査ができるようになったこともあり、3年度の利用実績はまだありません。本事業は、県の委託事業であり、9月末までの契約となっておりますが、この度、県から事業の延長について意向確認があり、能代市山本郡医師会と協議した結果、新型コロナウイルス感染症が拡大している状況等を踏まえ、4年3月末まで延長したい旨、回答しております。延長が決まれば、引き続き、同医師会の御協力を得ながら、適切に運営してまいります。

新型コロナウイルス感染症に関する支援策については、7月下旬から幅広い事業者を対象とした能代市長期影響継続事業者支援金の交付を開始しており、9月5日現在、431事業者へ2億1,343万1千円を支給しております。低所得世帯及び子育て世帯に対する生活応援商品券は8,094世帯へ1億1,943万円分交付しており、12月末まで319事業所で利用できることとしております。大学生・高校生等を対象とした能代市大学生等応援給付金は、1,033件3,453万円を支給しております。このほか、子育て世帯生活支援特別給付金、能代市奨学金の追加募集、公共交通事業者車両維持支援金、がんばるのしろの商い支援補助金、PCR等検査事業費補助金等の支援を行っておりますが、今後も感染症の影響や国・県等の動向を注視しながら、効果的な経済対策等について検討してまいります。

次に、公立保育所の今後の在り方についてであります。これまでの検討において、私立保育所は、多様なサービスを提供しやすいこと、国及び県からの財源を確保できること、また、保育所の運営が、社会情勢や国の政策の移り変わりとともに、民間へ移行していること等から、民間移管を基本としてまいりました。

第四保育所につきましては、令和4年度末で廃止することを既に決定しておりますが、今後の入所児童数及び保育士数の見込み、施設の状況等から、二ツ井子ども園、きみまち子ども園について、7年度から8年度を目途に民間移管を進めてまいりたいと考えております。

今後、保護者や地域、事業者等の皆様から御意見等をいただきながら、民間移管を進めるための具体的な手法や条件等を検討してまいります。

次に、能代火力発電所の長期運転継続の要望活動についてであります。9月3日に能代市議会議長、能代商工会議所会頭とともに、東北電力株式会社能代火力発電所を訪問し、火力発電での新技術の確立及び実用化による脱炭素化に取り組みながら、能代火力発電所が長期に運転継続されるよう、同社のテレビ会議システムで樋口康二郎取締役社長に要望いたしました。

東北電力グループでは、二酸化炭素排出の実質ゼロに向け「カーボンニュートラルチャレンジ2050」を宣言しており、火力発電の脱炭素化に向けた取組の一つとして、木質チップよりも高い熱エネルギーを有する、ブラックペレットによる混焼実証を能代火力発電所で行うこととしております。

市といたしましては、能代火力発電所の長期にわたる運転継続が図られるよう、引き続き、行政、商工団体、関係事業者等が一体となって要望活動を行ってまいります。

東京2020大会ホストタウン事業についてであります。能代市ホストタウン実行委員会において、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に参加したヨルダン選手団に対し、市内各小中高等学校等児童・生徒の応援メッセージを記したヨルダン国旗を送ったほか、空手競技、男子組手のパブリックビューイングを実施しました。オリンピックでは、8競技、14人の選手が参加し、銀メダル1個及び銅メダル1個を獲得、パラリンピックでは、3競技、10人の選手が参加し、金メダル4個及び銅メダル1個を獲得しております。大会でのヨルダン選手団のすばらしい活躍に敬意を表するとともに、応援に御協力いただいた関係者をはじめ、市民及び市議会日本ヨルダン友好議員連盟の皆様にご心より感謝申し上げます。

大会期間中、ヨルダンオリンピック委員会からは、パブリックビューイング参加者へ記念品のプレゼントや、選手からのメッセージ動画をいただき、リーナ・アンナーブ駐日ヨルダン大使からは、市民の応援に対する感謝や、この友好関係を今後の交流活動に生かしていきたいとのメッセージをいただいております。

市といたしましては、今後も交流事業を継続し、更なる友好関係を深めてまいりたいと考えております。

能代地域のし尿くみ取り料金の改定についてであります。くみ取り料金の改定は3年に一度行われております。過日、株式会社能代清掃センターから市に対し、180リットルまでの基本料金を、税別で、現行の1,791円から1,890円とする改定趣意書が提出されました。

市では、その内容を精査の上、能代市環境審議会へ報告し御審議いただいたところ、改定内容は妥当との御意見をいただきました。市といたしましては、審議結果を踏まえ、改定趣意書に沿って手続を進めてまいります。

なお、新料金については、10月1日くみ取り分から適用されることとなり、広報のしろ等で周知してまいります。

(仮称)イオン新能代ショッピングセンターについてであります。新店舗を運

営することとなったイオンタウン株式会社の加藤久誠代表取締役から、「店舗名称を『イオンタウン能代』とし、１１月下旬に開店する。」との報告がありました。また、開店に先立ち、本市とイオン株式会社で、中心市街地活性化に関することや商業・観光の振興に関すること等１５項目にわたる包括連携協定を締結する予定としており、一層の地域活性化及び市民サービスの向上につながるものと期待しております。

次に、第１４４回秋田県種苗交換会についてであります。１０月２９日から１１月４日までの７日間、能代市総合体育館を主会場とし、河畔公園、近隣民有地を協賛会場として開催する準備を進めております。協賛事業である農工商フェアには７業者、物産販売展には３１業者からの出店申し込みをいただいているほか、多くの広告協賛もいただいております。協賛会場では、物産販売等のスペースを準備するほか、来場者用の駐車場として会場周辺や下浜埠頭等に約２，５００台分を確保する予定としております。例年開催されている協賛行事のうち、秋田県農業機械化ショーと植木苗木市については、開催団体より「県外からの出展参加者もあり、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催は見送る。」との申し出を受けておりますが、あきた白神農業協同組合と秋田やまもと農業協同組合との合同で、地域農業をささえる農業機械を紹介する「おらほの農機展示会」を開催したいとの申し出がありました。現在、協賛会場内での農機具展示スペースの調整を進めております。開催に当たっては、新型コロナウイルス感染症対策を万全に講じてまいります。

次に、単行議案について御説明いたします。

能代市議会議員及び能代市長の選挙における選挙運動用自動車の使用及び選挙運動用ポスターの作成の公営に関する条例の一部改正は、公職選挙法の一部改正に伴い、選挙運動用ビラの作成の公営に関する規定を追加しようとするものであります。

能代市過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の制定は、過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法の施行に伴い、固定資産税の課税免除について定めようとするものであります。

能代市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例及び能代市個人情報保護条例の一部改正は、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部改正に伴い、引用条文の整理等をしようとするものであります。

能代市手数料条例の一部改正は、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部改正に伴い、個人番号カードの再交付に係る手数料

料を廃止しようとするものであります。

能代市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正は、特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準の内閣府令の一部改正に伴い、電磁的記録等に係る規定の追加等をしようとするものであります。

能代市中小企業融資あっせんに関する条例の一部改正は、産業競争力強化法の一部改正に伴い、引用条文の整理をしようとするものであります。

このほか、能代市過疎地域持続的発展計画について、損害賠償の額を定め和解することについて、能代市簡易水道事業特別会計への繰入額の変更について、令和2年度の能代市一般会計決算及び特別会計決算の認定、能代市水道事業会計決算の認定及び能代市下水道事業会計決算の認定について提案しております。

次に、令和3年度能代市一般会計補正予算案の概要を御説明いたします。

このたびの補正予算については、これまでに国、県から内示等を受けた事業について所要額を計上したほか、市単独事業は、当面緊急を要するものについて補正しております。

まず、歳入の主なものとしては、個人市民税、固定資産税及び普通交付税の追加、財政調整基金繰入金の減額、前年度繰越金の追加、臨時財政対策債の減額であります。

次に歳出の主なものについて御説明いたします。

総務費においては、財政調整基金積立金4億4,983万8千円の追加、移住定住推進事業費584万4千円を計上しております。

民生費においては、過年度国庫負担金等返還金2,141万円3千円を、

衛生費においては、PCR等検査費用助成事業費508万4千円を計上し、新型コロナウイルスワクチン接種対策事業費1億1,643万2千円を追加しております。

農林水産業費においては、風の松原いこいの広場整備事業費830万円を、

商工費においては、長期影響継続事業者支援金支給費5,000万円及び企業誘致推進事業費416万7千円を追加しております。

土木費においては、がけ地近接等危険住宅移転事業費170万1千円を計上し、道路交付金事業費1,103万8千円及び住宅リフォーム支援事業費2,000万円を追加しております。

災害復旧費においては、林道災害復旧事業費620万2千円を追加し、道路河川災害復旧事業費650万1千円を計上しております。

以上、一般会計補正予算案の概要を申し上げましたが、補正額は7億3,069万6千円となり、これを既定予算に加えますと一般会計の総額は303億500万円となります。

このほか、令和3年度各特別会計補正予算案につきましては、提案の際、詳細に御説明いたしますので省略させていただきます。

なお、人権擁護委員の候補者の推薦については、後日追加提案させていただく予定であります。

以上、よろしく御審議の上、適切な御決定を賜りますようお願い申し上げます。